(昭和30年3月28日第三種郵便物認可) うございました。 いかがでしょうか 4学はフーフェランド 「医戒」 にある言 日本医科大学の赫 葉 関する授業に始まり、 ができる」という項目で ム教育、あるいは救急医 たプロフェッショナ 年間の随所に盛り込ま 本学の歴史や教育理念に に基づい

入学時の学長による

として実践に努めていま

いて行動すること

員が

の規範

「済生救民」を建学の

学の授業や臨床実習な

修養的教養をもって直ち

に人間形成を言うのはも

に努めています。これら

人の言動に反映するよう

境の整備だけではなく各

に関連づけた教育が行

を大学生活の中で習慣化

者精神」で、

足計ですが、

このコンピテンス達

者の育成」を使命として する質の高い医師と医学 育理念「愛と研究心を有 野口英世先生、 「克己殉公:私、 人々を分 第二次 生はいかがでしょうか。

続いて、福井先 ありがとうござ

であると信じて努力をし

者の人間形成への第一歩

音楽を志す

ています。

これまで過大であった

た肥沼信次先生など、こ 命をいかに捉え実現して の学是を実践してきた先 疹チフスの治療に奔走し りです。創立から一四〇 輩が少なくないことが誇 世界大戦後にドイツで発 との使 技術革新が進み変化の 福井です。 良識ある市民の育成 大学は教養ある職業 現代社会にお 武蔵野音楽大学

た、

従来二つの校地で行

ってきた教育研究を、

化を図ってきま

ま

ても、

の推移に合せて順次適正

教育の卒業時のアウトカ 学生は卒業時にその時 ムとして八つのコンピテ 日本医科大学医学部の に周知徹底しました。 一〇一五年には学部 これを学内 専門の音楽教育を、 本学では建学の精神 専門分野である「音 を教育方針 と併せて 時 学科」 に履修できる様々な自 一層高める一方、横断的 「音楽総合学科」(四コ Ż 各コースの専門性を

の二学科に再編

の中で常に考えてい

ま

べきか、

日々の教育

教育が強く求められます

新の施設、

設備を備えた

合する計画で、

現在、

最

高柳

東北支部、

恵まれた都心の校地に統

図るために、

充実することを目指

るために、アクセスに、経営両面の効率化を

校舎を建設中です。

に従来の七学科を「演奏

(三コース)と

立以来、

薬学教育機関として、

学では人間相互の理解と る努力は当然ですが、 の変化に応じて充実す 清 まず 本 欲、進客を見るで、 化する学生の関心、意 をセメスター して、これまでの学年制 さらに制度上の工夫と 制に変更す 疎や震災による医療崩壊 弊した地域医療の復興と

冢としての自覚と倫理観

医療の専門

おける克己殉公の精神

日本医科大学「Basic Life Support」実習の風景。一次救命間処置について、1年生の4月に必修授業として行われる厳定という。本いののアクラーである。 科では、入学時から直ち 選択可能な学びのシステ を決定するかの、 **催信をもって専攻コース** 教養を学び、二年次から か、初年時は基礎や音楽 に専攻コースを決定する 大学院及び生涯学修 の改善、あるいは大学院部の教育内容や教育方法 の教育研究の高度化に取 てから一五年程になりま私が本学の運営を始め 究・大学変革の連続であ すが、この間、教育・研 養成に全力で取り組んで 薬学部では、

本協会を構成する七つの の改革を検討中です。 質の低下も見られ きな変化があり、 るほどの薬学部新設が相 六年制への移行という大 薬学教育 ま

森田

平成28年10月19日(水曜日)



ていくために、約六年を

かけてキャンパスも一新

り組み

は、開業 の願いと決意がこめられ 時代を背景とした設置者 特性を前提として開学 海学園大学の森本です 開学時のそれぞれの 「使命•目的」 北海道の地域の T時代の教育・研究に りますが、今、 何ができるかを考え、 面の整備強化が重要と考 の拡大に伴いガバ 化時代へむけて医療では 天学」 として新たなスタ 本格的なグロー を切ったところであ 「東北医科薬科

分野でも私学教育の開拓 本学の「建学の精神」 自由で不屈な「開拓 高等教育の 古田 ロ田 号で: ていくはずです。 すべく改革の日々は続 すべく改革の日々は続 東京電機大学学事 関東地区連絡協

者でありたいとして、地 本学は、神田領 機学校を母体とし、本年九〇七年に設立された電 創設一 神田錦町に一 一〇周年を迎

医科薬科大学の高柳で 化を学び、地域に根ざし きました。各大学におい 域密着型高等教育機関と た大学教育としてさらに 北海道の地域や歴史・文 する人材育成に尽力して しての責務を十分に自覚 北海道の各界で勇躍 教育の一環として 東北 工学教育を「物づくり」 貢献できる技術者育成の が必要とする学問「実育研究の理念とし、時代 育研究の理念とし、時代の「技術は人なり」を教 神、丹羽保次郎初代学長「実学尊重」を建学の精 を使命として設立され 貢献する技術者の育成」 社会に 学の精神で存在していま 学にはそれぞれ独自の しゃってきたように、私

亘り薬剤師養成に携わっ 々の健康と福祉に貢献 本学は昭和十四年の創 東北地方唯一の 長年に く発展する時代におい ます重要になりまし 技術者の役割は、 いて行ってきま

淑徳大学の小林です。 識してもらっています の精神は「一〇年先二〇 れた愛知淑徳学園の建学 ぶ面白さ」という本を入 学前に配布し、入学生 科学技術の役割を認 中部支部、 八年に創立さ 「工学を学 愛知 現化に努めてい などをはさむなど多角 に建学の精神の理解と具

は医学と薬学の連携を生 てまいりましたが、

今後

東北地区の医療過

された本学では、これを 年先に役立つ人造り」 め続けていくこと。 「伝統は立ちどまらな 「在るべき姿」を求 いて絶えず創意工 昭和五十年に設立 見直すべきは見直

関西支部、

盲の人への教育にも手

日本の人口ピラミッドの変化 1990年(実績) 1億2,361万人

平和』の授業を新入生 を」ですが、 語を通して世界の平 本学での学びの基本とし ています。授業では、 著名人による平和論 目として配置っ 、それに因ん 卒業式、 を話すようにしてい 教職員研修会、入学式 行事(辞令交付式、

教育のプログラムに着手 幅広く実践的なキャリア 多様で奥深い教養教育、 にも力点を注いでいま いくための総合的な力、 員として力強く生きて 本学では、 わば人間力を養うた 語学教育に加えて、 い時代への対応 国際社会の 義ある書だと思っていま 記念誌は伝統を伝える意

プがある人 めた多くの意欲ある様々く処すなど、高齢者を含 な人々への支援に力を注 ハンディキャッ なかでも全

どうぞよろしくお願い 外国語大学の森田です いでいます す。よろしくお願いい、徳島文理大学の村崎 中国・四国

○団塊の世代が全て75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。
○2060年には、人口は8,674万人にまで減少するが、一方で、65歳以上は全人口の約40%となる。 2013年(実績) 2060年 2025年 和人口 裁人口 8,674万人 1億2,066万人 間検性代 (1847~48年 生まれ) 20~64歳 7, 296 (57%) 4, 105 (47%) 20~64歳 7, 590 (61%) 団塊ジュニア世代 (1971~74年 生まれ) ~19# 1, 849 (15%) ~19@ 1, 104(13%) ~19m 3, 249 (26%) ~19歳 2, 244 (18%) 0 50 100 150 200 250 万人 死亡中位推計」(各年10月1日現在人口) 0 50 100 150 200 250 0 50 100 150 200 250 0 50 100 150 200 250 (出所)総務省「国勢調査」及び「人口権計」、国立社会保険・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計):出生中位 50 100 150 200 250 万人

立協同」を受け継ぎ、 た理想、建学の精神「自 私立大学の責任者とし 実現に取り組んでおり 先人の築いてこられ 本学園のあらゆる ともに、 新入生を対象に「文理す。毎年、理事長として 学」と題して「本学の 学の精神と歴史」の講義 歴史を振り返ると 本学の教育方針

、必ずまず建学の精神ス、記念行事)におい 入学案内、キャン -プンキャン るべく 全」を掲げ、 整備等を行ってきま 制の改革と施設の耐震化 私は教育への信頼を守 「安心」と「安 「自立協同」 学習指導体 生には、 うになってきました な修学にも寄与できる ようになり、学生の してきました。

門教育ともに建学の精神 会貢献) の使命(教育、 を果たすべく真 基礎教育、 大学の三つ 研究、 うになり、例えば、英語うになったか」を問うよとにより「何ができるよ 教育も、 か」ではなく、学 ブによる日本語禁 全授業、

理解を得るよう努力すべ

えています

とされる情報は、スマ

国で、

ICTで制御され、必要黒田 すべてのものが

機、テレビ等多くの電気

製品は、日本が主要輸出

トフォンやタブレット端

いつでも、

ね。以来は

。以来、企業の主力製」と言われていましたで、「Japan as No.

品は、

一〇年ごとに変わ

Q

最近の革新的な技術

なしには生まれません。 や製品は、国際的な協力

例えばあるスマー

ネ

とともに、

全学に浸透させる努力を 媒体でも、建学の精神を

特に学園の

学園通信等紙

「何を学

んだ

だと

を設置し、 の意欲を促し、 科等に自律学修セン 学教育に基づくアクニ の深化を支援するなど ブラーニングを実践 います。これらの 学生の修業 習育意改 と テ ど ィ 実 門学

的教育を推進する中 と思います。 上にも成果が表れて、 で実学践 いる 的に発展をしよう、と話教育機関であり続け持続 社会に向けて、現実的な なるでしょうが、学生た 対応策は大学によって異 よびその家族のために、 しました。超少子高齢化 へ、学生・生徒・園児お 人ひとりを大切にした

の問題など多くの課題を

かかえていますが、日本

りか、

入れ、私学にとって費用 前段階として留学生受け

ればなりませんが、その受け入れ問題を考えなけ

として前向きに取り組んの活性化につながる問題

東北医科薬科大学では地域医療の復興と発展に尽力 する人材育成に、医学と薬学の連携を生かす

また最近では各専門

拶として私から教職員す。私も、今年の年始挨 佐 藤

実践的授業を行って

ています。 編成できるよう、 また、学外に 人事異動に意を 教 いて めの様々なアクティビテ て自立への階段を上るた の声を通して本学のこの ような様々な取り組み等

を行っています。

学生

歩だと思っています。

赫

てていくことこそが、

は、講演依頼の数

が地域に認知されるよう

になり、学生確保が安定

会に目を向け、

対応については、

で本学の建学の精神

を務めて頂きますのは、こ する予定です 度は、建康寿命の延伸に 学部学科の設置について 揮し、教育の質を高 衛生士の養成を目指す 貢献できる次世代 がら社会的責任を果っ 地域の中で連携をとい 心してきましたが、 べく努力をしていま 口腔保健学科を新設 少子高齢化社会に より個性や特色 来に年対 りな とうございました。 であるとも言えます。 本質はまさに多様な教育 こそ重要であり、私学の わかりました。このよう 各地で建学の精神を具現 的になったと考えていま いては、多様な人材育成 に予測できない未来にお われていることが良く

した様々な取り組みが

とが、

本学の学内文化と

とは何かを問い続けるこ

先生方、

ありが

全国

たします。 です。よろしくお願 岀 崇城大学の

会への対応について、ご

るため、

単なる専門知識

魅力は高齢者にも高く支

ます。この超人口減少社

社会の発展を持続させ

めのツ

ルとして語学の

意見のある先生はどう

州支部の中

Щ

先

生で

激な人口減少があげられ できる未来としては、急

ね

かしながら、予測が

ーバル化が隹 レマ・、 手段の発展により、グロー・ 「幸選信、交通

も必要だと考えていまリタイア組に対する教育

第二の人生を送るた

る科学技術の発展はめざ

塾を創設したのが始れ 急務である」と考え 敗戦後の焦土の です。それ以来、 精神は実学主義を標榜 敗戦後の焦土の中、本学は、昭和二十四 した日本復興のために 科学技術者の育品 でしょうか う対応するか 超人口減少社会にど 森本 私からよろしい

に取り入れ、学部・大学の協働授業などを積極的学では反転授業や地域と

院一貫教育による能力向

上の試みを推進していま

時代が求める分野に集約

していくことで社会に貢

様である特性を生かし、

ん。本学の学部学科が多は不可能かもしれませ

献をしていきたいと考え

ています

は、

大沼

将来の私立大学

ーを開設し、

を開設し、学外の各種、昨年地域連携センタ

加に対応するために、本力等の大学教育内容の増

大学が、

現在の規模を維

恐縮ですが、全ての私立

小林 悲観的な意見で

持して存続していくこと

職業能力、グロー だけでなく、

グローバル能、活用能力、

持されて

装置や設備の充実に腐心 お陰で現在は研究面で 分な成果が得られ れる 一点しかありません。 のなかで、個々の大学が せるためには、環境変化で、私学経営を成り立た かに工夫していくかの 超少子化が進行する中 自大学への進学需要を

その時々の様々なニーズ や保護者及び地域社会の る教育を提供 に的確に適応し、受験生 大学の教育目標が 個性を発揮す ありますが、 五〇万人受け入れ計画で 府では一〇万人から三〇 生受け入れについて、政 活発にやっていく必要が 術・文化等の国際交流は 会にあっても、教育・学 森田 超少子高齢化社 万人計画と発展させて いのではないかと考 私はこれからは 中でも留学

年後、私立大学があるべき姿

そして何を行うべきか

高度

革することが必要である きです。そのためには、 重要性があると思いま 教職員が一丸となって改 しゃるとおりだと思いま 森本先生のおっ ・シップの確立の そとに学長の にとけ込み支え合い、き け入れ、日本社会の中核 力を持つ人をたくさん受 こなければ日本の老化現 つなげていかなければな のためには、若い知的能 象はおさまりません。そ っちりと日本の活性化に また、若い人が入って 末を通して、 時代はさらに進化し、Iなりました。このような することができるように どこからでも自由に手に

考えれば、移民・難民の 三〇年後よりさらに 二十二世紀のことを を変えることになるでしと進展し個人の生活様式 により、社会構造は一段 oTやAIの技術の発展

30年後は人工知能や OTで様変わり



愛知淑徳大学は、地域社会や世界での学びを積極的に実践する。写真は地域の高齢者 と子どもをつなぐ活動の様子

造されているのです。 業の協力により開発、製口社を超える国際的な企 日本でも人工知能やI

えられますが、 事故の発生件数の減少を えられています。衝突回や、産業構造の変化が考 もたらしてきていると考 術の最近の導入が、交通 避機能を含む運転支援技 る第四次産業革命の推進 ロボット技術によ 日本企業を含む三 なお、 の小学校に入学した子供は「二〇一一年度に米国 ックスフォー 予測をしていますし、オ職業に就くだろう」との イケル・A・オズボー ーヨー 達の六五%は、 今は存在していない ク市立大学のキャ 大学卒業

…。それほど、今の社会の世界、日本、社会、文 の変革のスピードは速い 三〇年後 達成に向けてなすべきと育者自身が、本学の使命 続的発展につながる第一 の中で学習者ならびに教 、超少子高齢社会への。直面する国内外の課 私もそう思いま その時代 まず社 持 国際人育成に力を入れる桜美林大学。留学フェアな ど国際交流行事が盛んに行われている

を維持するために、

急激

目を見張る勢いですね。

私はいま、アップル社の

ところです。

森 本

日本社会の活力

ゃるように、

技術革新は

ジェクトを実施している

が求められています

両先生がおっ

ーマにした地域貢献プロ

ぼり、 兆1000

さらなる技術革新

康長寿、防災減災等をテ

代交流、地域活性化、健団体と連携しながら異世

○万人、経済的損失は三者四○○人、負傷者七

の課題は、その時その時

他に存在しないのです せるのは、私学をおいて

コンピュータ時代に

内各社もパソコンを発売 た。その後、IBMや国

少子化の進行によっ

予想していました。 なっていくことは誰もが

平

に入ると携帯電話が小型

一九九五年以降は

た個性的な人材が確実に

「自ら学ぶ」姿勢を備え

氷められてきます。 そう した人材を社会に送り出

駆けとして発売されま

ソナルコンピュー Ⅰ eⅡという製品が。

タの先

が一段と重要になり、

〇年前に同社からAp

を使っていますが、約

幹産業の振興や産業構造 な変化を遂げる地域の基

に対応した人材育成機能

者も視野に入れ、いわばにするのではなく、高齢 五〇年には現在より約二 して、若い人だけを対象 衆知の如く、日本は二〇 でいく必要があります。 さらに別の取り組みと 〇万人の人口減なの 化による社会構造の変 会に存在価値のあるも 結するものであり、 の」でなければなりませ における社会の状況に直 今話している少子高齢 て、私学経営が圧迫され るという悲観論が広がっ 個性伸長に向けた特色あ 学が伝統的に進めてきた ていますが、

化が進めば進むほど、私

むしろ少子

ネットワー

クインフラが

すが古り、田

て

この四半世紀におけ

異なる見方とし

ご 意見に 賛成で

ですから…

ています

して根付

いていると考え

に関わらず、どのような にあっては、 が加速度的に進展するで でしょう。そして、これ 化、それに伴う産業の在 分野においても、多様 らを補うための技術革新 り方はますます深刻な問 題を提起することになる グローバ そのような社会 バル化への対 文系・理系 ます。 しています。 少子化をチャンスと見る という意味もあると言い いました。 重要になってくると理解 る教育の価値がますます 小 出 「危機」にはチャンス 大学にとって、超 ありがとうござ

たでしょうか

つまり、

今から三〇

をどれだけ

人が予測し

の科学技術の進歩と普及

七七年当時に、ここまで

代になりました。Ap

leⅡが発売された一九

の端末を誰もが持てる時

ではスマー

トフォンなど

めざましく整備され、

後も、そういう予測が

学科の垣根を越えた協力 どの課題解決に向け学部 ることでしょう。 応が促進されることとな 体制作りのため、本学で 村崎 過疎や高齢化な が、三〇年後の社会を見 たいと思います がこれから何をしていか かピンチと見るか。ここ 据えたうえで、私立大学 は各加盟校にお任せをし さて次に、課題②です いける力が必要になって 題に常にチャレンジして 代だからこそ、新しい課ます。予測のつかない時 ます。予測のつかない そういう次の時代を担う 若者達を育てていかなけ ますし、私たちの世代 かない時代だと感じて ればならないと強く感じ

がでしょうか。 くるのは間違いありませ ご承知のとおり、 ニュ

る仕事の約四七%が、今 准教授らは「米国におけ 後一〇年から二〇年程度 高い」と予測してい で自動化される可能性が -ド大学のマ ま

と言えますね。 り生きることは何かが問 と、「人間が人間として 人間らしく社会」と関. こうした時代になる

多くが機械化され便利な

われるようになります